



観光さくらんぼ園

佐藤錦に紅秀峰。鶴田町はさくらんぼの栽培も盛んです。6月下旬から7月上旬にかけて、果物好きにはたまらない旬のさくらんぼのもぎ取りを体験できます。



ねぶた運行

水と火の祭典 つるたまつり

毎年8月に、鶴田町「本町」地区や富士見湖パークを会場に開催されます。祭り期間中は、龍巻寿司をはじめ、白上龍神太鼓、ねぶた運行、龍神船湖上運行、花火大会など、さまざまなイベントが繰り広げられます。



十月



六月

鶴田じょっぱりチャリティー酒まつり

町内外から約500人の愛飲家たちが集まり文化通り地区の居酒屋などを飲み歩きます。ほろ酔い気分の抽選会や新たな出合いで参加者は大盛り上りのイベントです。

外国青年による津軽弁大会



五ツ太鼓



御神火むらめくり

観光ぶどう園

甘くて美味しいニューヨーク生まれ、鶴田育ちのスチューベン。収穫量・作付面積日本一の鶴田町では10月上旬から10月下旬にかけてスチューベンのもぎ取り体験を楽しむことができます。

鶴田町歳時記



八月
一月

鶴風揚げ

北海道鶴居村から譲り受けた鶴風をきっかけにはじまった鶴風揚げ。現在では毎年1月2日の新春と8月15日の夏まつりのときに開催されるイベントとなりました。

弥生画

五穀豊穡を願い、額に穀物の種子を一粒ずつ貼付け、その色を生かして絵に仕上げていきます。藩政時代から伝わる弥生画は、全国唯一、鶴田町だけで継承されています。年末に鶴田八幡宮と閼羅神社に奉納されます(1月末まで)。2月～11月まで道の駅で見ることができます。



一粒一粒が小さい種子



鶴の舞橋全国カラオケ大会



津軽富士見湖全国へら鮎釣り大会

美しく雄大な自然と素朴で
温かな人柄が織りなす
鶴田の四季。

昔からあるけれど新しい、
今しかないけれど懐かしい。

春夏秋冬、鶴田の大地は
新たな出合いの予感に
満ちています。



ツル多はげます会

町名にちなみ「バカにされるハゲ頭が集まり、うっぶん晴らしをしよう」と結成。毎年「ツルツルの日」と名付けた2月22日と中秋の名月に「有多毛(うたげ＝宴)」と題した例会を開いています。

津軽富士見湖桜まつり



五月

毎年ゴールデンウィーク中に、富士見湖パークを会場に開催されます。約2,000本の桜が咲き誇る景色は圧巻。期間中、へら鮎釣り大会やマラソン大会、カラオケ大会など多くのイベントが開かれ、毎年県内外から多くの人が訪れます。



大豆加工品

鶴田町産大豆を原料とした豆腐や味噌などの大豆加工品は、安心 安全で素朴な味が人気を集めています。



テンペ

鶴田町産大豆100%にこだわった「テンペ」。納豆のような粘りや匂い、クセもなく、健康 美容にもってこいの栄養価の高い大豆発酵食品です。

丹頂のささやき

鶴田町で栽培されたブドウ「スチューベン」を原料につくられたワインです、赤とロゼの2種類があります。



葡萄のお酒Filer(フイラー)

鹿児島県産のサツマイモと米麹を原料とした本格芋焼酎「紫尾の露」と鶴田町産スチューベン果汁をあわせた爽やかな味のリキュールです。



さくらんぼ

「佐藤錦・紅秀峰」
甘味が強く酸味もほどよい佐藤錦。晩生種で佐藤錦より大きく、酸味が少なく、糖度が高い紅秀峰。鶴田町では、このほかにも数品種が生産されています。



林檎のお酒Filer(フイラー)

鶴田町産りんご「ふじ」の果汁と鹿児島県産の芋焼酎の原酒に炭酸を加えたスパークリングリキュールです。

鶴田町逸品カタログ

鶴田米

鶴田町の肥沃な大地と豊かな愛情にはぐくまれた農薬節減米です。一粒一粒が美しく輝き、ほのかな甘みが人気です。



米加工品

鶴田町産米を原料とした米加工品の数々。なかでも米粉パンがおすすです。



鶴の恩返し

鶴田町産のお米でつくられた県産酒造好適米「華想い」から生まれた優しい味の純米吟醸酒です。



鶴田りんご

青森県はりんごの名産地。鶴田町ではおいしさにこだわった津軽の代表的なりんごが生産されています。



●鶴田で収穫されるりんご

- ① つがる
- ② 千秋(せんしゅう)
- ③ 紅玉(こうぎょく)
- ④ 世界一(せかいいち)
- ⑤ ジョナゴールド
- ⑥ 王林(おうりん)
- ⑦ ふじ・サンふじ



スチューベン

ニューヨーク生まれ 鶴田町育ちのスチューベンは作付け面積・生産量ともに日本一を誇ります。スチューベンを使った加工品も人気です。



丹頂の微笑

スチューベン果汁を搾汁後、3ヶ月熟成し、瓶詰めしました。低温でねかせ味にまろやかさを出したこだわりのジュースです。